

つき組生活発表会

『まほうのおみせやさんとふしぎなせかい』

日時：令和元年11月28日（木）

場所：下中幼稚園 2階 遊戯室

開場：9：20

開演：9：30

※開場まで、ばら組でお待ちください。

【登場人物紹介】

○お店屋さん

【魔女】 【魔法使い】

不思議なアイテムを売ってくれたり魔法をかけてくれたりして、みんなを楽しい世界に連れていってくれます。

○お客さん

【海の世界】 【絵本の世界】 【お化けの世界】

行ってみたい世界に行けるアイテムを探しに、グループごとに不思議なお店屋さんで買い物に出かけました。いいアイテムは見つかるでしょうか？

お話ができるまで…

10月に入り、生活発表会で何を発表したいか、どんなお話にしたいかとクラスで話し合う機会を設けると、子どもたちの中からいろいろなイメージが湧いてきました。その中から「いろいろな世界に行きたい!」ということでクラスの思いが固まり、“どんな世界に行ってみたいか”を、想像を膨らませながら考えていきました。“この世界に行ったらこんなことができるかな?” “この世界にはこんなものがあるといいな”と子どもたちの思いがたくさん詰まっていて、話し合いをするたびにとてもワクワクしました。

お話作りでは、教師や友達に自分のイメージを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながらつき組全員で作り進めていきました。自分の思いを言葉にして伝える難しさや、相手に上手く思いが伝わらないもどかしさ、悔しさなども感じながら作っていく中で、人の話を聞くことの大切さを知り、耳を傾けられるようになり、上手くまとまらないときには、折り合いをつけて友達の思いに賛成したり、違う方法を提案してみたりと、自分たちで考えて進めていこうとする姿が見られるようになり、成長を感じる場面が多々ありました。

子どもたちが一生懸命進めてきたお話作りの経緯や生活発表会までの姿、見どころなどをグループごとに紹介します。是非ご覧いただき、当日の子どもたちの姿と合わせてお楽しみください。

お店屋さんグループ

第2学期に始まったお店屋さんごっこで、友達のお店でカラフルなレンズのメガネを買くと、そこの色の世界に行けるという遊びができました。その不思議なアイテムが面白くて、今度は自分たちもいろいろな商品を作ってお店を開きました。その経験が、今回のお話へと繋がっていきました。クラスみんなで考えた、海の世界に行ける腕時計、お化けの世界に行けるメガネ、その世界に行ける不思議な絵本…。そのアイテム以外にも、自分たちで考えて、いろいろな種類の商品を作っていました。

また「買ってもらうだけじゃなくて、不思議な世界に行くには私たちが魔法をかけないと！」と、魔法をかけようということに決まると、第1学期に遊んでいたマジックショーを思い出し『ちんぷいぷいのぷい！』と自然と呪文も揃いました。

魔法使いは、不思議な魔法を使ってみんなから買ったお土産をさらに素敵なアイテムに変身させてくれます。魔法は成功するのでしょうか？

そして、そのアイテムを使って、素敵な演奏を聴かせてくれる魔女さんたち。何度も何度も練習して、とても上手になった演奏を是非楽しみにしててください。



あお

きいろ

あか

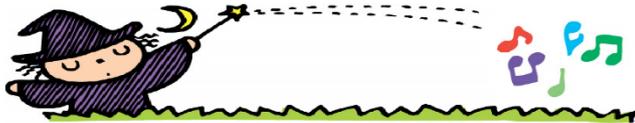
キラキラのアイテムを使って魔法をかけるよ！



お店には窓があるよね！



不思議なお店だから、いろいろな色で塗ってみよう！



海の世界グループ

ある日、大きな紙に海の絵を描きはじめた数人の子どもたち。よく見るとクジラがいたり島があったり、灯台や船が描かれていたりしていました。「その絵を形にしてみよう！」と、ゲームボックスを組み合わせて、「アイランド」を作り始め、その島に段ボールで大きなココナツの木を作りました。ココナツアイランドの完成です。すると、イメージはどんどん膨らみ「実がないね。」と新聞紙で実を作ったり「その実を採ってみよう！」と、ココナツ狩りの遊びが始まりました。最初は、ジャンプをして採ろうとしたり、虫捕り網を使おうか考えてみたりと、試行錯誤しながら取り組んでいました。そのとき、シューティングゲームをして遊んでいた友達の姿を見て「これだ！」と思いつき、その友達に教えてもらいながら鉄砲を作り、ココナツ狩りをするできるようになりました。一生懸命ココナツを狙う姿を、是非応援してください！



くじらの腕時計をつけて海の世界に行ったら、クジラに迎えに来てもらおうよ！
どなんくじらにしようか？



いいね！
どなんくじらにしようか？

この鉄砲を使えばココナツがとれるんじゃないかな？



アイランドはイエローにしようよ！

大きなくじらを作るぞ！

絵本の世界グループ

「絵本の世界に行ってみよう！」と、いろいろな本を探しました。その中から子どもたちが選んだのは『へんしんトンネル』です。言葉を繰り返し言っていると、なぜか違う言葉に変身してしまう不思議な絵本に子どもたちは夢中で、“へんしんシリーズ”はつき組でも特に人気の絵本でした。

さて、さっそくどんな言葉があるか、何に変身したいかを考えますが、子どもたちは悩めます。いろいろな言葉を探しては繰り返して言ってみますが、なかなかいいものには変身しません。3人で悩みながら、絵本の中から選んだ言葉と、子どもたちが見つけた変身する言葉を披露しますので、一生懸命作った変身グッズと合わせてご覧ください。そして、おうちの方も、ぜひ大きな声と一緒に参加してください。

馬がトンネルを通して…
ばかばかばかばか…

かっぱかっぱかっぱ…
あ、カッパになった！

でも、カッパには
変身したくないなあ



あ、こんな言葉はどうか？

いいね！
3人でやってみようよ！



ぼくたちがこの
トンネルをくぐると



なぜか変身しちゃいます！



何に変身
するのか
お楽しみ
に♪



お化けの世界グループ

お話作りがはじまったときに、1番最初に決まったのが“お化けの世界に行きたい”ということでした。クラスみんなが“黄色いお化けの世界にしよう！”と決まると、真っ先に思い浮かんだのは、とったぞー祭りで作ったあの大きなジャックオーランタン。口がパカパカと開く怖いジャックオーランタンを作ると、そこからどんどんイメージが広がっていきます。

そして、お化けの世界を作っていく中で、コウモリや幽霊など可愛らしいお化けもたくさんできました。気付くと、そのお化けに棒がついていて、ゆらゆら～と動かして遊び始めた子どもたち。

そこで、OHPとスクリーンを用意してみると、影絵をして夢中で遊び始めました。当日はどんな発表になるのでしょうか。お楽しみに♪

また、お菓子をくれないいじわるカボチャからお菓子を貰うために、つき組で大人気のダンスを踊ります。決めポーズでは表情がとっても素敵なので、ぜひご注目ください！

この中にお菓子を入れるのはどうか？

いいね！

このカボチャはいじわるだから、お菓子を全然くれないことにしよう！

じゃあどうしたらお菓子をもらえるかな？

これでお話をつくってみようよ！



棒をついたら
ゆらゆらと動くようになったよ！



怖いゾンビを作るよ！



わー！面白い！

～あらすじ～

あるところに、ふしぎなアイテムをたくさん売っているお店がありました。そのお店でアイテムを買い、魔女たちに魔法をかけてもらって“不思議な世界”に行けるのです。

ある日“海の世界”に行きたい！というお客さんたちがやってきます。そこで、くじらの腕時計を買って、海の世界に行くことができました。海には大きなココナッツアイランドがあり、そこで休憩したり、ココナッツ狩りをしてジュースを作ったりすることにしました。

次は、“絵本の世界”に行きたいというお客さんがやってきます。お客さんが不思議な絵本を選び、読んでいるといつの間にか本当に絵本の世界に来てしまいました。その世界では、いろいろなものに変身できる不思議な体験をします。

“お化けの世界”に行きたいお客さんたちが、黄色いメガネを買ってつくと、本当にお化けの世界に行くことができました。その世界にはコウモリや幽霊が出てきたり、大きないじわるカボチャ・ジャックオーランタンが現れたりします。

不思議な世界に連れて行ってもらったお礼にと、それぞれがお店屋さんにお土産を用意します。みんなから素敵なお土産をもらったお店屋さんのところへ、魔法使いがやってきて、不思議な魔法でお土産を“虹色のベル”に変身させてくれました。それを見たお店屋さんは、みんなを素敵なお世界に連れていってあげようと思いつきます。素敵なお世界とは、一体どんな世界なんでしょうか…？

子どもたちの“こんな世界があつたらいいな”“こんなところに行ってみたいな”がたくさん詰まったお話です。是非、最初から最後まで楽しんで見てください。

